

令和6年度 自己評価書

学校名	和歌山市立川永小学校
校長氏名	淵川 保直
作成日	令和 7年 3月 7日

1 教育目標

豊かな心と学ぶ意欲をもち、主体的にたくましく生きる子供を育てる

2 本年度の取組についての評価

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	- 県学習到達度調査で基本問題の正答率が県平均を上回る。 - 毎日の勉強が分かる(児童90%以上)	- 学校が楽しいと感じる(児童90%以上) - いじめの解消率(100%) - 情報モラル授業を実施する - 朝の挨拶ができる(100%)	- 基本的な生活習慣を整え、感染症予防に留意する。 - 体力の向上を目指し、縄跳びカード等、学習カードを用いて取り組む。 - 休み時間は外遊びを積極的に行う。 - 朝ごはんを食べる(100%)	- 学校の教育活動や子供の様子がよく伝わった(保護者85%以上) - 学期に1回以上地域の人材を活用する
重点目標	◎基礎基本の確かな定着 ◎子供主体の授業づくり ◎家庭学習の定着 ◎読書活動の推進	◎道徳・人権教育の充実 ◎いじめの未然防止、早期発見 ◎高学年をリーダーとしたチーム学校づくり	◎体力向上の推進 ◎基本的な生活習慣の確立 ◎安全教育の充実	◎家庭・地域との連携充実 ◎幼保小の接続、中学校区における学校間連携の推進 ◎地域の人材及び資源の活用
取組の状況【D】	○「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」の定着 ○考えを書き、それを根拠に発言できる授業の実施 ○ICTを積極活用し、基礎基本の定着と、分かる授業を目指す ○校内研究授業を通して授業改善・教師の授業力を向上させる ○保護者と協力し、家庭学習の定着を図る ○図書室の開放、読書タイムなどを通して読書活動の推進を行う	○教科書、「心のとびら」を活用し「道徳」の充実を図る ○日頃からいじめの未然防止、早期発見に努め、いじめアンケートを実施し実態把握及び未然防止に努める ○情報モラルやネット社会に潜む危険性について学ぶ機会をもつ ○児童会活動の充実を図り、高学年をリーダーとし、子供が考え、実行する取組を行う機会を増やす	○授業を中心として児童の体力向上を図る ○「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨し、基本的な生活習慣を整え、感染症予防の指導をする ○交通安全教室や避難訓練を計画的に実施し、危機対応能力を養う	○ホームページ、学校便り、学級便り、保健便り等で学校の情報を定期的に発信し、授業や行事等を積極的に公開する ○幼保小の接続及び中学校区での連携を推進する ○地域の方々との交流を通して、人々の生き方について学ぶ ○地域の人材や資源を活用する
取組の成果と課題（評価結果）【C】	○発達段階に応じ、自分の考えを出し合い、話し合い深めていく授業を行った ○県学力調査では、5年国語が県平均を超えた以外、数ポイント下回った ○児童の89%が毎日の勉強がわかると回答している ○タブレットドリルを始め、ICT端末を積極的に活用することができた	○児童の97%が学校は楽しいと回答 ○いじめアンケートを実施するとともに、日ごろの見守りといじめ・不登校委員会を定期的に開き、児童の実態把握に努めているのでいじめは100%解消している。今後も一過性の指導に終わらず、継続して、校内で連携し見守り指導していく。 ○情報モラルや児童理解について外部講師を招いて学習する授業を行った	○向上意識をもって体力テストに臨み、昨年度の課題を克服した ○子供たちは元気に外遊びを行い、授業でもできる限りの体力づくりを行った ○避難訓練は例年通り実施できた。 ○生活調べの結果を保健だより等で保護者に知らせるとともに、健康的な生活の必要性を促した。「早寝・早起き・朝ごはん」について、保護者に啓発することができた	○ホームページ、学校便り、学級便り、保健便り等で情報を発信した ○家庭訪問(希望制)で、保護者と担任が直接話げできた ○高学年が近隣の保育所児童と交流できた ○見守り活動、田植え・稲刈り、町探検、花植え替え、秋祭り、地域の皆様にはお世話になりました ○図書ボランティアの活動が途絶えてしまった。
改善方法【A】	○授業の中で自分の考えを書き、それを出し合い、話し合せて深めていく授業をさらに進めていく ○ICTの積極活用を進めながら、基礎基本を大切に、毎日の勉強が分かる子をさらに増やしていく ○継続的・計画的に家庭学習・自主学習に取り組むようにしていく	○日頃から児童の実態を把握し、保護者と連携しながら、いじめの防止、早期発見、早期解決に努める ○挨拶運動や交流活動を継続しコミュニケーションを通して児童の心の教育とする ○関係機関と連携し、情報モラル教育を今後も行っていく	○授業、遊びを通して児童の体力向上に取り組む ○保健だよりを活用し、児童の健全育成を図る ○安全教育については、交通安全教室や避難計画を実施していく	○幼少・小中の連携をできる範囲で行い、地域や保護者の力を積極的に学校運営に活用できるような取組を工夫する ○参観・懇談の機会や、ホームページ、学校だより、学級だより、保健だより等でも引き続き学校の情報を発信していく

3

・確かな学力の向上に向けてさらに取り組んでいきたい ・児童の育ちにつながるよう地域や保護者の力を積極的に活用できるような取り組みを計画していきたい ・校内研修をより一層充実させるとともに、教師の授業改善及び指導力の向上を目指した取組を継続していきたい
